

千葉県歴史教育者協議会主催

たのしい社会科交流会

—模擬授業と実践報告をもとに、みんなで学び合いましょう—

日時 2018年5月13日(日) 13:00~16:15(会場受付12:30~)

場所 船橋勤労市民センター 3階 レクリエーションルーム

(JR 船橋駅下車 徒歩6分、京成船橋駅 徒歩4分)

内容 ①模擬授業「古代道路から見る東アジアと律令国家」(高校日本史)

②実践報告「民衆が兵士になることに着目した戦争学習」(小学校)

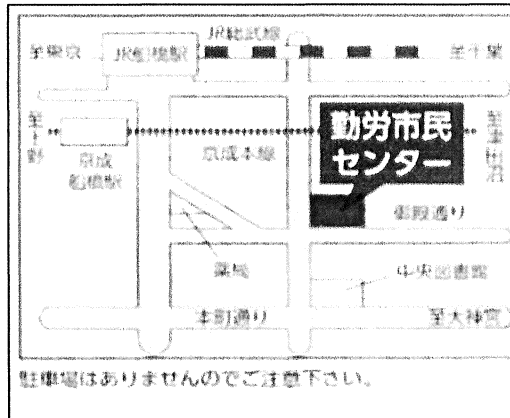
資料代 500円(学生・会員無料) * 普段着でご参加ください。終了後懇親会を予定しています。

模擬授業

「古代道路から見る東アジアと律令国家」

近年の発掘調査の進展から、古代の日本では最大で幅30m、総延長6300kmにも及ぶ巨大な道路が造られたことが明らかとなった。現在よりも人口が少なく、自動車も存在しない時代に、なぜこのような巨大計画道路が造られたのだろうか。本実践では、生徒がその背景を探求する中で、当時の東アジア情勢や国内の中央集権化の動きを掴んでいく。そして、時代や場所を超えて見られる「巨大な建造物が造られる背景」とは何なのかを考える。

〔船橋勤労市民センターへのアクセス〕



JR 船橋駅より徒歩：6分

実践報告

「民衆が兵士になることに着目した戦争学習」

「先生、本当に戦争になるんですか？」
安保法制が可決されたときに子どもに質問されたことである。国の安全保障政策の根幹を大きく変えたこの法制の是非を考えるには、戦場の実像を具体的に知ることが重要だと私は考えた。国のために戦うという行為が、実際に戦場に赴いて戦った一人ひとりに何をもたらしたのか。特に「人が命の奪い合いをする」という経験がもたらすものは何なのかを、歴史的事実から学び、子どもたちなりに認識を深めさせる必要があると考え、授業を行った。

授業づくりに役立つ書籍の販売や頒布コーナーもあります！